

## (2) プログラム (実践例)

順 序	内 容	ろうそくの動き	備 考	
第1部	集 合	司会者はキャンドルサービスの流れを説明する。	1部と3部は儀式なので、私語は慎むようにする	
	入 場	静かに燭台を一周して所定の位置へ。	燭台を囲み円陣	
	夜の歌	静かな歌を歌う。		
	営火長入場	禰宜がろうそくを持って営火長を先導する。	会場外で禰宜のろうそくに点火。営火長には点火せずに入場	円の内側を一周して所定の位置(北の方角)に
	営火長の話	開会の言葉の後、火に関する話を感慨を込め手短かに。		禰宜は営火長を照らす
	分 火	禰宜が営火長のろうそくに点火後、営火長は各班長のろうそくに分火する。	禰宜は営火長に点火	ろうが落ちないように注意する
	誓いの言葉	班長は班の代表として団結の誓いをする。	班長は燭台に点火	短くはつきりと
	心の歌	静かな、心に響くような歌を歌う。		
第2部	出し物	グループ毎に出し物をする。出し物を必ず最後まで見るようにする。 ヤジを入れないようにする。	禰宜、営火長、班長の火は消す	司会者は盛り上がるように配慮する
第3部	静かな歌	静かな雰囲気のある歌を歌い、心を静める。	個人用のろうそく・燭台を渡す	
		営火係は、燭台の火を消す(1本残す)。		
	夜 話	営火長による言葉(心の糧となるようなもの)。		
	キャンドルサービス	班長は営火長より分火してもらう。	禰宜は燭台の火で点火し営火長へ点火	私語は慎む
		班長はろうそくをかかげ各班へ帰り、右まわりに点火していく。		
	終わりの言葉	司会者は感謝と別れの挨拶を述べる。		
	別れの歌	「シャロム」(など) 斉唱 → ハミング		
	営火長退場	火の禰宜、営火長は会場を一周して退場。		
	消 火	右まわりにひとりずつ自分のろうそくを消す。最後に大きなろうそくを班長が消す。		私語は慎む
	退 場	会場が暗くなり、退場をうながす。		思いを込めて退場

## 7. 実施上の留意点

- ・ろうそくは各団体に準備することもできます。
- ・「出し物」は、全員が参加して楽しむことができるようにしましょう。
- ・室内の床にろうが落ちると、滑りやすくなり危険です。体育館用具室にある厚手のシート(薄い黄色シート)を敷いて活動を実施してください。
- ・後片付けをしっかりと行いましょう。
- ・他団体と合同で行うこともできます。

